

春日部間税会長賞

「世界のだれかのために」

白岡市立南中学校3年

鈴木 優 乃

税金は近いようで遠いものだと感じる。お店で何かを買うときに消費税を払っているが何に使われているのか知らないからだ。だから税金について調べてみることにした。調べてみると健康や生活を守る社会保障費や道路や住宅などを整備する公共事業費、国債の返済や利子の国債費などに使われていることが分かった。その中で海外援助などの経済協力費というものがあり興味を持った。多くの税金が国のために使われているが、この税金には海外が関係しているようだ。経済協力費についてくわしく調べることにした。

経済協力費とは開発途上国の経済的、社会的開発や福祉の向上を目的とし、技術協力や資金提供を行う、政府開発援助という活動で使われているそうだ。

国の0.5%、およそ五千百二十三億円分経済協力費に使われていることも分かった。世界には多くの人々が貧困や飢餓で苦しんでいる現状はニュースで見たことがある。その人々のために国同士が協力して援助していることを知り、とてもおどろき喜ばしく思った。私達が支払っている税金が国を超えて世界の苦しんでいる人達の役に少しでも立てているのだなと思うとなんだか嬉しくなった。しかし、多くの税金を自分の国ではなく他の国に使うことに批

判も多くあるようだ。国内は増税などで負担が大きいかからだ。この意見には納得できる部分もある。だが、経済協力の活動は先程説明した開発途上国やその国に暮らす人々を助けることだけではない。世界での日本の地位向上や、輸入物資供給の安定、国際協力の推進などにおいてもとても重要な活動だ。そのため結果的に日本にもメリットのある活動なのだ。しかも東日本大震災などの災害の時、他の国の人達が沢山支援してくれた。遠く離れた人達が日本のために支援してくれたのにも関わらず、自分の国だけに税金を使いたいという考えは自己中心的でよくない考えだと思う。

税金は、日本だけでなく世界をよくするためにも大切なことなのだと感じた。私が納めている税はまだ消費税くらいだと思う。この税金が世界の苦しんでいるだれかのために役立つと思うと経済協力費はとても重要だしすばらしいものだと思う。この作文で学んだことを忘れず、しっかりと税金を納めていけるようにしたい。